

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ラボデミHOME
------	----------

公表日 2026年3月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	パーテーションや机を加えて、小集団・個別どちらの支援でも用途によって使い分けしやすい様になっている。	小柄なお子さんも多いため、折り畳み式の小柄な机や椅子が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	人員配置自体は問題なし。	特性によって同じ人数でも全く進み方が変わることや少ないと感じることが多い。また人員配置自体は問題ないが一人で欠勤者が出ると一気に支援がしにくい状態が生まれるため加配などを含めての改善が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	上下などのイメージがないように「宇宙」「空」「森」「海」と自然のもので部屋の分け方をしている。教室内はバリアフリーに近く、起伏がない。	マンション自体はエレベーターも狭く心身に障害がある方には御利用が非常にしにくい。またトイレなどの限られた場所に手すりが必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	毎日の清掃だけでなく、環境整備を行う日を年に3回設けている。加えて毎月「ものを捨てる日」を制定し、なるべくものがない(見えない)空間作りを意識している。	職員によって清掃・整頓についての大きなムラがある。仕組み作りを継続しつつ、お子さん達がみやすい環境設定をしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		1.3を合わせ、大集団・小集団・個別支援並びに専門支援を作りやすい様に空間を最大限使える様になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の朝礼・月に一度の事業所会議・年に一度の事業所内アセスメントを行いながらPDCAを回すようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	年に一度だけでなく、お迎え時などにフィードバックの時間を長く設けることで少しでも保護者様と面と向かって話す機会を設けさせていただいております。	他の親御様が後で待っていると話にくいという方も居るため、来年度はモニタリングなどは別で2~3か月に一回、各保護者様とお話をする機会を設ける。期間に差があるのは御家庭希望に合わせるため。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	別会社に依頼をして定期的に「内部監査」をしてもらい、人員配置などの運営基準や支援に関する目的などのお話をしている。	パート・アルバイトの方が知る機会などを設けていないため、今後は全員へ伝える仕組み作りが必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	アセスメントだけでなく、お迎え時の話や公式ラインでの相談も交えながら常に中間評価なども考慮しながら作成をしている。	システムを非公開から公開に設定を怠っており、確認が出来ないという保護者様がお見えになったため、こちらで公開のWチェックを取り入れて実施し、改善をする。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	支援計画を作る際の個別支援会議では基本的に管理者は話をしない。現場の職員の低い職員から話することで多角的な意見を支援計画に反映する。管理者は経験はあっても正しいわけではない。という認識で作成・検討	パート・アルバイトの方が会議時間に居ないことが多いため、なるべく時間調整などをしながら全員で会議が進められるように取り計らう。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		13と同様	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		13と同様	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		13と同様	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各曜日によってプログラム内容は異なっており、各担当者責任者を設けた上で実施を図っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		17と同様	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		実施をしている。個別・小集団・大集団+専門支援で分ける様に行い、選択肢を増やせるようにしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日の朝礼時に必ず時間を設けている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		ヒヤリハットや事故報告書に関わることは原則、翌日の朝礼時に実施をしている。反省会の時間が退勤時間にかぶる恐れがある為、時間設定の改善が必要。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	社会福祉協議会などの会議に参加をして、少しずつ輪を広げる様にしている。	関係者会議などが開催されることが無いため、こちらからの情報発信の機会をもっと増やせるようにしていく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		実施をしている。今後は保護者様に了承を得た上で、定期的にこちらでのご様子を書類にまとめ送らせて頂く形を取る。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		相談支援事業所様がお見えにならない御家庭に関しては行っている。相談支援が事業所様がいられている御家庭に関しては情報が錯綜しないようお願いをしている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	特定の発達センター様において非常にこまめに連絡をして頂けるため、非常に助かっております。こちらからも都度、新しいことをお伝え出来るように職員間で共有をしております。	パート・アルバイトの方に意見や助言がいきにくいいため、しっかりと構造化して全員が見える状態を作る。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		現状、限定した職員のみが対応をしている。が、活動ではなく情報共有のみなので、活動に発展する機会を設けられる等にコミュニケーションを図るよう改善する。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		プログラム作成までは進んでいるが、2025年度は実施が出来ていない。今年度中に経験豊富な職員や専門分野を学んできた職員を中心とした研修を実施。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		契約の際に必ずお伝えをしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7					

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		今年度実施予定であったが、出来ていない。今年度中に実施予定の為、開催時期などを含めて改善する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2		必ず、すぐに実施をするようにしている。管理者が対応できない場合も一次対応を別職員で行えるように職員教育も実施している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1		鍵付き書庫などを含め実施をしている。また、個人情報を適切に取り扱ふ為、お子さんたちにお話をしている範囲なども共有をしている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		地域で開かれたものに関しては参加をしているが、こちらから聞くこと自体は出来ていない。地域の方を案内する行事ごとと自体を設定していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		全てマニュアル策定及び市で定められている規定数の勉強会・講義の実施をしている。パートアルバイトの職員においても後日参加や説明の形を取っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		45と同様
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		必ず確認をしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	医師の指示書若しくは保護者からの情報共有書の提出がない。	保護者様からご提供いただくことが多い。都度、こちらから聞く形で対応をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		朝礼を踏まえ、安全管理の確認をしている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		支援に関する安全性に関して、毎日の支援記録にどんなプログラムをどんなやり方で実施をしたかを細かく記載している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		研修だけでなく、ヒヤリハットや事故報告書以外の事柄も毎日の朝礼時に適切な方法をそれぞれで案を出し合いながら対応をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		計画及び説明を実施している。起こった場合については必ず、保護者様へお伝えをしている。	